

Cisco IP Communicator 2.0

シスコ ユニファイド コミュニケーション システムに不可欠な Cisco Unified IP Phone は、その統合ビジネス機能および統合 コミュニケーション機能によって、従来型音声システムを超え、競合製品を上回っています。シスコシステムズは、優れたエンドツーエンド データ ソリューションおよび IP テレフォニー ソリューションを通して、規模を問わずあらゆる企業向けに機能の充実した IP フォン製品を提供しています。

シスコ ユニファイド コミュニケーションにおける音声および IP コミュニケーションの製品およびアプリケーションは、コミュニケーションを円滑にし、ビジネスプロセスの短縮、適切なリソースの迅速な活用、および生産性と利益の拡大を可能にします。シスコ ユニファイド コミュニケーションの製品は、シスコ ビジネス コミュニケーション ソリューションに不可欠です。シスコ ビジネス コミュニケーション ソリューションは、ネットワーク インフラストラクチャ、セキュリティ、ネットワーク 管理の各製品、無線接続、ライフサイクル サービスなどから構成されます。

Cisco IP Communicator (図 1) は、Microsoft Windows ベースのアプリケーションで、パーソナル コンピュータで拡張テレフォニー機能を実現します。Cisco IP Communicator は配置が簡単で、現在の IP コミュニケーションで利用できる最新のテクノロジーや高度な機能を容易に取り入れることができます。これにより、コンピュータに IP フォン機能が搭載され、出張先やオフィスなど、企業ネットワークにアクセスできるあらゆる場所で高品質な音声コールを利用できます。

図 1 Cisco IP Communicator



Cisco IP Communicator は、出張時の補助的な電話または在宅勤務のためのデバイスが必要とするユーザ向けに作られています。また、デスクトップに置くメインの電話としても使用できます。Cisco IP Communicator をリモートで使用すると、内線電話として利用できるだけでなく、通常の電話やビデオ テレフォニー サービスとしてもオフィスにいるのと同じように利用できます。こうしたメリットにより、業務上の連携作業や対応も迅速になり、現在のモバイル環境に適応したビジネスが可能になります。

Cisco IP Communicator は、Cisco Unified Video Advantage と使用することで、コミュニケーション手段としてビデオ テレフォニー を利用できるようになります。在宅勤務者およびモバイル ワーカーは、Cisco IP Communicator によって、ビデオを利用した円滑なコミュニケーションが可能になります。Cisco IP Communicator からコールを発信すると、利用可能なビデオが Cisco Unified Video Advantage を通じて自動的に表示されます。これは電話をかけるのと同じくらいに簡単な操作です。

Cisco IP Communicator は、Cisco Unified CallManager の呼処理システムを使用して、高度なテレフォニー機能および VoIP 機能を提供します。8 本の電話回線（または回線と電話機能への直接アクセス用ボタンの組み合わせ）が使用可能です。Cisco Unified CallManager システムに Cisco IP Communicator を登録すると、コールの切り換えや転送、3 者間通話（会議）機能など、Cisco Unified IP Phone のすべての機能を利用できます。これにより、システム管理者は、他の Cisco Unified IP Phone のように Cisco IP Communicator をプロビジョニングして、IP フォンの管理を大幅に簡略化することもできます。また、ディスプレイには、革新的で生産性の高い Extensible Markup Language (XML) ベースのアプリケーションを表示することもできます。

Cisco IP Communicator の機能

Cisco IP Communicator は、使いやすいボタン操作により、豊富な機能を容易に利用できます。

- **ラインキー× 8** — 電話回線を表示したり、電話機能へのアクセスを提供します。
- **ソフトキー× 5** — コール機能オプションが動的に表示されます。
- **メッセージ** — ボイスメール メッセージにアクセスします。
- **ディレクトリ** — Cisco IP Communicator は、着信メッセージを識別して画面上で分類します。さらに、ダイヤルバック機能を使用することで、素早く効果的な電話のかけ直しが可能になります。企業ディレクトリは、Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリに統合されます。
- **設定** — 豊富な呼び出し音および背景イメージから選択できます。
- **サービス** — 天気、株価、今日の一言など各種の情報や Web ベースの情報に素早くアクセスできます。豊富な機能および情報へのポータルとして XML が使用されます。
- **ヘルプ** — IP フォンのキー、ボタン、および機能の説明を表示するオンライン ヘルプです。

Cisco IP Communicator のモード

Cisco IP Communicator には、ハンドセット、ヘッドセット、および高品質スピーカーフォンの各モードがあります。

- **ヘッドセット モード** — Cisco IP Communicator で最高品質の音声通信機能を提供します。
- **ハンドセット モード** — Cisco IP Communicator でサードパーティ製の USB テレフォニー ハンドセットを使用できます。
- **スピーカーフォン モード** — Cisco IP Communicator でコンピュータをハンドフリーの半二重スピーカーフォンとして使用できます。

コールの機能

Cisco IP Communicator は、システム機能の進歩に伴って拡張できるように設計されたソリューションです。システム管理者は、他の Cisco Unified IP Phone のように Cisco IP Communicator をプロビジョニングおよびアップグレードして、IP フォンの管理を大幅に簡略化することもできます。ソフトウェアの自動更新により、機能を最新の状態に維持します。利用可能な高度な機能 (Cisco Unified CallManager システムの設定により異なる) は、次のとおりです。

- 複数の回線またはディレクトリ番号のサポート
- 短縮ダイヤルの設定

- 発信者名および番号の表示
- コール ウェイティング
- コールの転送
- コールの切り替え
- 3 者間通話（会議）
- パーク
- ピックアップ
- リダイヤル
- コールの保留
- バージ
- コール バック
- エクステンション モビリティ

高品質な音声

Cisco IP Communicator は優れた音声品質を提供します。音声機能には以下のものがあります。

- 音声チューニング ウィザード
- 高度なジッタ バッファ
- エコー抑制およびノイズ キャンセレーション
- 音声アクティビティ検出（VAD）、無音圧縮、およびエラー遮断
- IP precedence（Differentiated Services Code Point [DSCP]）の音声プライオリティ

Cisco IP Communicator の追加機能

- ユーザ設定可能な呼び出し音（24 種類以上）
- Cisco VPN クライアントの自動検出
- 大半の VPN クライアントの自動サポート（Microsoft PPTP クライアントを含む）
- デスクトップ ビデオ コールを利用するための Cisco Unified Video Advantage 2.0 以降（Cisco IP Communicator 2.0 以降が必要）との相互運用性
- USB Human Interface Device（HID）のサポート。テレフォニー デバイス ページ（0x0B）に基づき、キーパッド、フック スイッチ、およびミュート機能をサポート *
- ドラッグアンドドロップによるダイヤリング
- コピーアンドペーストによるダイヤリング
- 数字変換
- わずらわしさの少ないコール通知
- キーボード ショートカット
- PC の更新を容易にするための非 MAC ベースのデバイス名（Cisco Unified CallManager 5.0 以降が必要）

* Cisco Technology Developer Program において、Cisco IP Communicator 向けのデバイスを扱うベンダーの一覧については、以下の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/ecoa/Search?KEYWORD=Communicator&KeywordSearch=1&isAffil=>

これらのデバイスは、確認試験を通り相互運用性基準を満たしているため、シスコの製品仕様にも適合しています。Cisco IP Communicator 用のヘッドセットおよびハンドセットについては、以下の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5475/prod_bulletin0900aecd800f4564.html

複数のディスプレイ オプション

図 2 は Cisco IP Communicator で利用できる 3 つのディスプレイ オプションです。

図 2 Cisco IP Communicator のディスプレイ オプション



ネットワーク機能

Cisco IP Communicator は、以下のネットワーク機能を搭載しています。

- G.711a、G.711 μ 、G.729、および G.729a の各音声コーデック
- Cisco リニア広帯域オーディオ コーデック (Lin16k)
- Trivial File Transfer Protocol (TFTP) または HTTP によるソフトウェア アップデート
- Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) によるネットワーク パラメータのプロビジョニング

シスコ ユニファイド コミュニケーションのサービスおよびサポート

シスコシステムズとパートナーは、シスコのライフサイクル サービスの考え方を活用して、シスコユニファイド コミュニケーション システムをサポートするための幅広いエンドツーエンド サービスを提供しています。これらのサービスは、IP コミュニケーション ソリューションの構築、運用、および最適化に効果のある手法を基にしています。たとえば、早期段階に計画サービスおよび設計サービスを活用すると、厳しいスケジュール要件を満たすことができ、導入作業中のネットワークの停止を最小限に抑えます。運用サービスを使用すると、専門家の技術サポートによって通信の中断リスクを軽減できます。最適化サービスを使用すると、ソリューションのパフォーマンスが向上し、運用効率が高まります。シスコとそのパートナーは、耐障害性の高い統合型ネットワークの構築および維持に役立つシステムレベルのサービスおよびサポートを提供し、企業ニーズに対応しています。

まとめ

シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの一環を構成する Cisco IP Communicator を使用すると、コミュニケーションが円滑になり、従業員、お客様、およびパートナーとのつながりが強化されることで、カスタマー サービスが向上し、生産性と利益も拡大します。

コンピュータの最小要件

- Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack 4) または Windows XP Professional (Service Pack 2) (日本語 OS 対応)
- Pentium III 450 MHz または同等 (Pentium P4 1.5 GHz 以上を推奨)
- 128 MB RAM (Windows 2000) または 192 MB RAM (Windows XP) (256 MB RAM 以上を推奨)

- 100 MB のディスク空き容量
- 非 ISA の全二重サウンド カード（内蔵型または PCI ベース）または USB サウンド デバイス
- 800 X 600 X 16 ビット画面解像度、1024 X 768 X 16 ビット以上を推奨
- 128 kbps のネットワーク接続

Cisco Unified Video Advantage を使用する場合のコンピュータの最小要件

- Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack 4) または Windows XP Professional (Service Pack 2)
- Pentium 4 2.4 GHz または同等 (Streaming SMD Extensions のサポートが必要)、Pentium P4 2.8 GHz 以上を推奨
- 256 MB RAM、512 MB RAM 以上を推奨
- 200 MB のディスク空き容量
- 非 ISA の全二重サウンド カード（内蔵型または PCI ベース）または USB サウンド デバイス
- 800 X 600 X 16 ビット画面解像度、1024 X 768 X 16 ビット以上を推奨
- 384 kbps のネットワーク接続

Cisco Unified CallManager の最小要件

- Cisco CallManager 3.3(3) Service Release 3 (SR3)
- Cisco Unified Video Advantage と Cisco IP Communicator を使用する場合、Cisco Unified CallManager 4.1(3) SR1 以降のバージョンが必要
- Cisco CallManager Express 3.3
- Cisco Unified Video Advantage と Cisco IP Communicator を使用する場合、Cisco Unified CallManager Express 4.0 が必要

発注情報

表 1 に Cisco IP Communicator および Cisco Unified CallManager の製品番号を示します。

表 1 Cisco IP Communicator および Cisco Unified CallManager の製品番号

説明	製品番号
Cisco IP Communicator ソフトウェア	SW-IPCOMM-E1
Cisco Unified CallManager のステーション ユーザ ライセンス	SW-CCM-UL-IPCOMM-E

* 発注ごとに、Cisco IP Communicator の購入確認とソフトウェアのダウンロード場所を記載した書面をお送りします。

** Cisco Unified IP Phone の場合と同様、Cisco Unified CallManager ユーザ ライセンスが必要です。

©2006 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL: 03-6670-2992

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問合せ先